講演タイトル（日本語）

登壇者に

〇をつける

**登壇者写真**

**（掲載可能な場合. 未掲載の場合は枠を削除）.**

English Title of This Article is Written Here

〇著者1姓 名1,　著者2姓 名2,　著者3姓 名3

First Author1, Second Author 2, Third Author3

1著者1所属,　2著者2所属,　3著者3所属

1First Affiliation, 2Second Affiliation, 3Third Affiliation

# はじめに

このテンプレートを参考に，ここから本文を記載してください．**文量は1/3 ~ 1ページ以内**でお願いいたします．作成した原稿はPDF形式にしてアップロードしてください．

# 原稿の書式

* 図表の大きさは自由です．
* 図表には図1, 図2，表1，表2 またはFig.1, Fig.2等として番号をつけてください．
* 図表にはキャプション（日本語または英語）を付け、本文中で説明を入れてください．

図表を含めA4判（縦）で作成してください．余白のレイアウトは以下としてください．段組み不可，１段組みでお願いいたします．

上　：25 mm

下　：25 mm

左　：20 mm

右　：20 mm

# 文字の大きさ，フォント

題名，著者名，所属, 章見出しについて，例に沿って記述してください．題名，著者名，所属はページに対して中央揃えにしくてださい．文字の大きさ，フォントをそれぞれ以下のように設定して下さい．

Fig. 1 Figure caption

題名（日本語）：14ポイント（ゴシック・太字）

題名（英語）：14ポイント（Times New Roman・太字）

著者名：11ポイント（Times New Roman, 明朝）

発表者名に〇印、発表者の写真（28x21 mm程度）

所属　：11ポイント（Times New Roman, 明朝）

章見出し　：11ポイント（ゴシック）

本文・図キャプション　：10.5ポイント（Times New Roman, 明朝）

本文は両端揃えで，行間1行で記述してください．

参考文献： 9ポイント（Times New Roman, 明朝），行間1行

# 図表

図および写真のタイトルは下に，表のタイトルは上に配置するようにしてください．

Fig. 2 Figure caption

# 謝辞

予稿の枚数は，1ページ以内に収めて頂きますよう，お願い致します．

参考文献

1. T.Ishimoto, K.Hagihara, K.Hisamoto, S.H.Sun, T.Nakano: “Crystallographic texture control of beta-type Ti–15Mo–5Zr–3Al alloy by selective laser melting for the development of novel implants with a biocompatible low Young's modulus”, Scripta Materialia, 132 (2017) pp.34-38
2. 日本英恵夢，日本栄絵夢ほか：”金属AMでの基礎研究”，AMフューチャー，1, (2025) pp.100-105
3. 日本Additive Manufacturing学会編:「はじめての3D積層造形」，出版社名，2025

Corresponding author: Author Name, example@ji-am.jp (※アドレスは掲載可であれば。このコメントは削除して下さい。)